

# 4 防災計画

## 耐震性・耐浸水性の強化

### <耐震性>

- ・大規模地震発生時にも構造体の補修をすることなく業務遂行が可能な、通常建築物の1.5倍の耐震性を確保

### <耐浸水性>

- ・受変電設備や非常用発電機など主要な設備を2階以上に配置するとともに、機械棟1階の主な入口に水密扉を設置

## 災害時の庁舎機能の維持（電力や水などのライフライン機能の維持）

### <電力>

- ・事故や災害のリスクが低く、途絶時でも早期に復旧される特別高圧を2回線で受電
- ・非常用発電機2機を設置するとともに、72時間以上連続運転可能な燃料を備蓄
- ・万が一の非常用発電機の停止時でも、電源車両等による外部からの電源供給が可能

### <水>

- ・上水道と地下水の複数水源を確保し、一定量を常時貯水

### <ガス>

- ・耐震性があり、途絶時でも早期に復旧される中圧導管による都市ガスの引き込み
- ・シャワーや炊き出しに利用できるLPガスバルクタンクの設置

### <通信>

- ・電話等の通信線を2回線で引き込み

### <排水>

- ・公共下水道が使用できない場合に備え、災害時汚水貯留槽を設置
- ・災害時汚水貯留槽と仮設浄化槽とを接続できるよう配管を整備

### <庁舎設備>

- ・エレベーターには地震による休止後、自動で安全を診断し運転再開する機能を付加

## 災害対策機能の強化

### <災害対策本部機能>

- ・行政棟5階を危機管理フロアとし、常設の災害対策本部スペースを確保するとともに、大型モニターや防災情報通信システム等の設備を整備
- ・災害対策本部員室、災害情報集約センター、危機管理部執務室等の危機管理機能を同一フロアに集約することによる、円滑、迅速な災害対応
- ・食料・飲用水等を保管できる備蓄倉庫を設置

### <ヘリポート>

- ・公園に防災活動等に使用するヘリポートを、行政棟屋上に緊急時の避難・消防活動に使用するヘリポートを設置

